



雨がよく降るね。
雨水を貯めて有効利用できないかな。

雨水タンクで雨水を貯めてみてはいかがですか。
貯めた水は、庭の樹木や家庭菜園の水まきに利用できるだけでなく、災害時にトイレの水などとして使うこともできます。さらに、降雨時に河川へ雨水が流れ込む量を減らす役割もあります。

補助金の交付決定通知書が届いたら、雨水タンクを購入。雨水タンクは、大きさやデザインなどさまざまあります。価格は、250ℓで3万6000円から、8万円を超えるものまであります。
※市内店舗以外にも、市外店舗やネット通販での購入も補助対象です。

報告書を提出後、市の職員が設置の確認に伺います

問▼土木課
(☎71)2239)

ステップ1
まずは市役所へ事前申請

商品購入前に、申請書・設置場所の写真・購入予定の商品資料などを土木課へ提出



ステップ3
設置後、報告書を提出

購入・設置後、写真を撮って完了報告書などを土木課へ提出



ステップ5
補助金の受け取り

購入・設置費用の2分の1の補助金(※)が振り込まれます
※補助限度額▼100ℓ〜200ℓ未満
↓1万8000円 200ℓ以上
↓2万5000円。
※1軒に2基まで補助します。
◆◆◆◆◆
※各申請は、(月)〜(金)午前8時30分〜午後5時15分(祝を除く)に直接土木課へ。
※申請書などは同課・市公式ウェブサイトで配布。

生活に欠かせませんね

倉石広久さん(大山町)

毎日の庭木などへの散水と、災害時には、トイレの水としての利用も考えて、雨水タンクを設置しました。
1回の雨で、260ℓのタンクが満水になり、約1週間ほどかけて利用しています。

購入前は知らなかったのですが、雨水タンクは大雨の時に、河川へ流れる雨水を減らせるんですね。今では、雨の前にタンクの水を抜き、できる限り多くの雨水が貯められるよう気を配っています。一度に川へ流れ込む雨水の量を少しでも減らし、水害の軽減にも役立つようにしていきたいです。



設置した雨水タンク

設置後、知り合いなどから「使い勝手はどう?」と聞かれることがあります。皆さんタンクに興味があるんですね。聞かれると、「いいですよ」と勧めています。

当初は「必要ない」と言っていた妻も、今では毎日タンクの水を使っています。

設置には、市から補助もあるので、ぜひ利用してみてもいいかなと思います。



花に雨水タンクの水をまく倉石さん

補助制度一覧

名称	条件	補助内容	補助限度額	担当課
浸透マス	詳しい条件は市公式ウェブサイトをご覧ください	工事費の2分の1	1基あたり9000円	土木課 (☎71)2239)
浸透管			1mあたり3000円	
浸透側溝			1mあたり8000円	
透水性舗装			1㎡あたり500円	
既存浄化槽転用雨水貯留槽	3㎡未満	工事費の3分の2	1基あたり7万5000円	下水道管理課 (☎71)2258)
	3㎡以上10㎡未満		1基あたり10万円	
	10㎡以上		1基あたり15万円	

雨水を染み込ませる浸透マスなどにも補助をしています。家の新築・建て替え時などに設置してみてもいかがですか。

雨水タンクのほかに



透水性舗装(施工後)



浸透マス(内部)



浸透マス(施行後)